

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2002-514204(P2002-514204A)

【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願平10-536699

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 6/00

A 0 1 N 25/10

A 0 1 N 43/40

A 0 1 N 59/00

A 6 1 K 6/083

【F I】

A 6 1 K 6/00 Z

A 0 1 N 25/10

A 0 1 N 43/40 1 0 1 K

A 0 1 N 59/00 C

A 6 1 K 6/083 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月9日(2005.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成17年2月9日

特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

特願平10-536699号

## 2. 発明の名称

粘着性、抗菌性および／または修復的象牙質刺激歯科用組成物  
およびこれらの組成物の生成および使用方法

## 3. 補正をする者

ウルトラデント プロダクツ インコーポレイテッド

## 4. 代理人

東京都港区赤坂2丁目6番20号

電話 (03)3589-1201 (代表)

(7748) 弁理士 谷 義一



## 5. 補正命令の日付

自 発

## 6. 補正対象書類名

明細書

## 7. 補正対象項目名

請求の範囲

## 8. 補正の内容

(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。

以 上



## 別紙

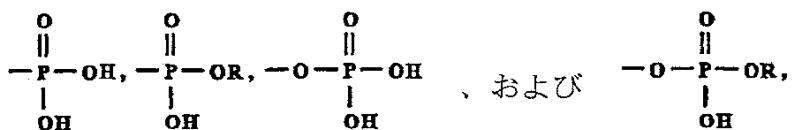
## 請求の範囲

## 1. 粘着性抗菌性歯科用組成物であつて：

オキシホスホラス基を有するアルキルメタクリレート；

放射エネルギーでアルキルメタクリレートを照射することによりアルキルメタクリレートの重合を開始させるための光重合開始剤；および 抗菌剤を含むことを特徴とする組成物。

## 2. オキシホスホラス基が、Rがアルキルである



からなる群から選択される式を有することを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

3. アルキルメタクリレートが、ビス2-ヒドロキシエチルメタクリレートトリニ酸エステル、p-ヒドロキシフェニルメタクリルアミドのリン酸エステル、3-ヒドロキシプロピルメタクリレートのリン酸エステル、4-ヒドロキシブチルメタクリレートのリン酸エステル、それらの混合物、およびそれらの誘導体からなる群から選択されることを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

4. アルキルメタクリレートが、ビスグリセロールメタクリレートトリニ酸エステルを含むことを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

5. アルキルメタクリレートが、歯科用組成物の約0.01重量%から約90重量%の範囲の濃度を有することを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

6. 組成物が、歯内で剔削された窩洞形成中で重合した後に密閉を維持することを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

7. 抗菌剤が、有機ハロゲン類、抗生物質類、アルカリ金属水酸化物類、アルカリ土類金属酸化物類、アルカリ土類金属水酸化物類、およびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

8. 有機ハロゲンが、1, 1' -ヘキサメチレンビス(5-(p-クロロフェニル)ビグアニド)、塩化セチルピリジニウム、塩化ベンザルコニウム、臭化セチルピリジニウム、およびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項7に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

9. 抗生物質が、4' -スルファモイルスルファニルアニリド、3-アミノ-6-(2-(5-ニトロ-2-フリル)ビニル)ピリダジン、トランス-シュードモノニック酸、キサントマイシン、アルファーアミノ-p-トルエンスルホニアミド、アルファーアジドベンジルペニシリン、ペニシリンO、ペニシリンN、モノプロピオニルエリスロマイシン、エリスロマイシン9(O-((2-メトキシエトキシ)メチル)オキシム、およびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項7に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

10. アルカリ金属水酸化物が、水酸化ナトリウム、水酸化リチウム、およびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項7に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

11. アルカリ土類金属酸化物が、酸化カルシウム、酸化マグネシウム、酸化バリウム、酸化ストロンチウム、およびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項7に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

12. アルカリ土類金属水酸化物が、水酸化マグネシウム、水酸化バリウム、水酸化ストロンチウム、およびそれらの混合物からなる群から選択されることを特徴とする請求項7に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

13. 抗菌剤が水酸化カルシウムを含むことを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

14. 抗菌剤が、歯科用組成物の約0.001重量%から約80重量%の範囲の濃度を有することを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

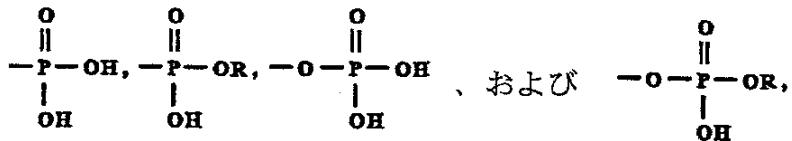
15. 抗菌剤が、アルキルメタクリレートの重合で実質的に消費されないことを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

16. 歯科用組成物が歯質の処置領域を実質的に密閉する能力を持つことによって、歯科用組成物で処置した歯質の処置領域への微生物の進入を実質的に予防することを特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

17. 歯科用組成物が、保存されて、次いで、注射器を用いて歯質上に送達されることができる特徴とする請求項1に記載の粘着性抗菌性歯科用組成物。

18. 粘着性抗菌性歯科用組成物であつて：

Rがアルキルである



からなる群から選択される式を有するオキシホスホラス基を含むアルキルメタクリレート；

重合開始剤；および  
抗菌剤を含むことを特徴とする組成物。

19. 粘着性抗菌性歯科用組成物であつて：

ビスグリセロールメタクリレートリン酸エステル、ビス2-ヒドロキシエチルメタクリレートリン酸エステル、p-ヒドロキシフェニルメタクリルアミドのリン酸エステル、3-ヒドロキシプロピルメタクリレートのリン酸エステル、4-ヒドロキシブチルメタクリレートのリン酸エステル、それらの混合物、およびそれらの誘導体からなる群から選択されるメタクリレート；

放射エネルギーでアルキルメタクリレートを照射することによりメタクリレートの重合を開始させるための光重合開始剤；

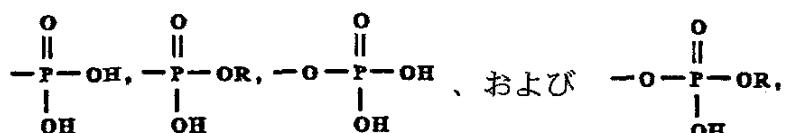
および

水酸化カルシウム

を含むことを特徴とする組成物。

20. 粘着性抗菌性歯科用組成物であつて：

Rがアルキルである



からなる群から選択される式を有するオキシホスホラス基を含むアルキルメタクリレート；

放射エネルギーでアルキルメタクリレートを照射することによりメタクリレートの重合を開始させるための光重合開始剤；および

水酸化カルシウム

を含み、

放射エネルギーを歯科用組成物に照射することによるアルキルメタクリレートのin situ重合のために歯質上の処置領域に組成物を位置させることができ、

水酸化カルシウムがアルキルメタクリレートの重合で消費されないで、水酸化カルシウムがアルキルメタクリレートの重合の後も歯科用組成物に抗菌能力を付与することが可能で、

歯科用組成物が密閉をもたらして、処置領域への微生物の進入を実質的に阻害する  
ことを特徴とする組成物。

21. 注射器によって歯質に塗布し、*in situ*で重合させることができる注射器で送達可能な粘着性抗菌性歯科用組成物の製造方法であって：

オキシホスホラス基を有するアルキルメタクリレート、放射エネルギーで歯科用組成物を照射することによりアルキルメタクリレートの重合を開始させるための光重合開始剤、および抗菌剤と一緒に混ぜて粘着性抗菌性歯科用組成物を得るステップと；

粘着性抗菌性歯科用組成物を注射器に導入するステップとを含むことを特徴とする方法。

22. 粘着性抗菌性歯科用組成物で歯質を処置する方法であって：

オキシホスホラス基を有するアルキルメタクリレート、光重合開始剤、および抗菌剤を含む粘着性抗菌性歯科用組成物を提供するステップと；

歯科用組成物を歯質の領域に塗布するステップと；

塗布した歯科用組成物を放射エネルギーで照射し、アルキルメタクリレートの重合を開始させ、歯質の領域を密閉し、それによって歯科用組成物が塗布されている歯質の領域への微生物の進入を実質的に阻害するステップとを含み、

前記歯質は、人間の歯質でないことを条件とすることを特徴とする方法。

(以下余白)